

## 国民健康保険あかぎ診療所のあり方について

### 第 1 章 はじめに

国民健康保険あかぎ診療所は、国民健康保険診療施設として、医療機関の立地が少ない地域を補うため、赤城地区を中心とした地域医療を確保することを目的に、国保診療所の使命である「地域医療を確保するとともに疾病予防・介護予防を通じ、地域住民の健康と安心を守る」ため、地域と深く関わりながら経営を続けてきました。

しかし、近年では一般会計からの繰入金が増加している状況が続き、地域医療の継続だけでなく、経営改革の必要性が大きく迫られている状況となったことから、市では令和 2 年度渋川市議会 12 月定例会において、「国保赤城診療所の経営状況及び今後の取組について」を報告し、その中で、「診療形態のあり方を検討し、外来診療や訪問診療の内容を精査するとともに、民間活力を活用した運営など、経営形態のあり方についても検討する」こととしました。

国保あかぎ診療所については、1 次医療と 2 次医療という役割の違いはあるものの、診療所から 4 km の距離に「渋川医療センター」が開院したことや、浅田橋が開通し、市の南部地域にある医療機関へのアクセスが向上したこと、さらに、在宅医療の推進や保健・介護・福祉との連携・協力のコーディネートといった国民健康保険診療施設が担うとされた役割は、平成 28 年度に設置された「渋川地区在宅医療介護連携支援センター」が中心となり推進するなど、診療所を取り巻く環境は大きく変化しています。

そこで市では、今後の地域医療を総合的に俯瞰し、経営形態のあり方そのものをより詳細に、そして様々な可能性について多角的に検討するため、市民や医療、福祉関係者などで構成する国民健康保険あかぎ診療所のあり方検討委員会を設置し、今後の方向性について議論し、取りまとめのうえ市に報告することとしています。

### 第 2 章 国民健康保険あかぎ診療所について

#### 1 診療所の概要

##### (1) 診療所建設に至る経過

市町村合併前の旧赤城村で運営していた旧赤城南診療所及び北診療所は、昭和 20 年代初期、無医村・医師不足を解消するため設置されました。特に、北診療所は平成 15 年度まで「へき地診療所」としての役割を担っていました。

平成 18 年 2 月 20 日、市町村合併により渋川市となり、新市における診療所のあり方を検討した結果、今後とも本市の地域医療を確保すると共に、医療・介護・保健・福祉の連携とサービスの充実を図るため 2 か所の診療所を統合し、新たに国保あかぎ診療所を建設し現在に至ります。

##### (2) 建設当時の診療所の役割

###### ア 地域社会への貢献

地域医療を守る立場から、地域と積極的に関わり、単なる医療の提供にとどまらず、患者をトータルな人間として捉え、地域においてプライマリ・ケア（地域住民の健康や福祉に関わるあらゆる問題を、総合的・継続的・全人的に対応していこうとする地域での実現活動）を実践する医療機関として、よりよい地域社会の形成に貢献していく。

#### イ 在宅医療の推進

統合により診療機能を強化し、患者のニーズにより柔軟に対応できる体制を構築し、在宅医療の推進を図っていく。

#### ウ 保健・介護・福祉との連携・協力

健康管理課と連携した保健指導や相談、各種健康教室、介護や子育て支援等を実施し、地域包括ケアシステムの構築に貢献していく。

#### エ 医療機関の偏在と医療不足地域への対応

本市における医療機関の立地状況は、南部地域（渋川・伊香保・北橘）に集中する一方、北部地域（小野上・子持・赤城）では不足していることから、医療機関が不足している市の北部地域を中心に訪問診療を充実していく。

### （3） 施設の概要

施設名：国民健康保険あかぎ診療所

所在地：渋川市赤城町敷島 44 番地 7

設置根拠：渋川市国民健康保険診療所条例

建設年月：2010(平成 22)年 4 月

主な構造：地上 1 階・S 造（鉄骨造）

建築面積：772.33 m<sup>2</sup>

敷地面積：2,355.65 m<sup>2</sup>

駐車場：31 台

利用時間：8:30～17:15

休業日：土曜、日曜、祝日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

## 2 診療所の運営状況

平成 22 年の開設以降、医師 2 名体制で、国保あかぎ診療所の利用者数は 7 千人台後半から 8 千人台で推移しましたが、平成 27 年度には利用者数が 7 千人台前半となりました。平成 30 年 8 月から開始した土曜診療や広報活動などにより利用者数は回復しましたが、令和 2 年度は医師 1 名となり土曜診療を中止したことや、新型コロナウイルス感染症の影響などで、利用者数は大きく減少しました。

市の一般会計からの繰入金は、国保あかぎ診療所建設にかかる借入金の返済が年間約 17,000 千円あることもあり、開設以来概ね 4 千万円台で推移してきましたが、平成 30 年度と令和元年度は土曜診療の実施による人件費の増加などで、繰入金が 5 千万円台となりました。令和 2 年度については職員体制を見直し、1 月から医師 1 名、看護師 2 名、事務員 1.5 名とすることで、繰入金を再び 4 千万円台としました。

なお、令和 3 年度については、公設医療機関として、市民に対し新型コロナ

ウイルスワクチン接種を積極的に行うこととし、通常診療については縮小するため、診療収入や医療用消耗品・医薬品の購入費などの医業費は大幅に減少する一方、新型コロナウイルスワクチン接種委託料として諸収入が増加する見込みです。また、令和2年度からの経営改善により人件費や管理費を圧縮するとともに、診療所の建設・設計及び医療機器等購入に係る起債の元利償還金である公債費は、利率の高い診療所建設公債費の繰上償還分55,700千円が増加しています。

【表1-1：平成22～25年度 患者数、収支等の推移】

|                                 | H22               | H23               | H24               | H25               |
|---------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 外来患者人数(人)                       | 7,977             | 8,745             | 8,677             | 8,784             |
| (内往診患者数)                        | (451)             | (398)             | (344)             | (289)             |
| 1日平均患者数(人)                      | 32.8              | 35.8              | 35.4              | 36.0              |
| 診療実日数(日)                        | 243               | 244               | 245               | 244               |
| 収入(円)                           | 128,919,625       | 135,874,072       | 127,802,823       | 143,200,936       |
| 診療収入(a)                         | 75,185,521        | 80,803,365        | 78,183,046        | 80,018,659        |
| <b>繰入金</b>                      | <b>42,976,191</b> | <b>43,666,788</b> | <b>39,081,668</b> | <b>46,236,694</b> |
| 諸収入(b)                          | 8,587,313         | 10,285,169        | 9,579,259         | 10,904,883        |
| 使用料・手数料(c)                      | 1,003,100         | 1,038,750         | 958,850           | 840,700           |
| 繰越金・財産収入                        | 467,500           | 80,000            | 0                 | 0                 |
| 市債                              | 700,000           | 0                 | 0                 | 5,200,000         |
| 支出(円)                           | 128,919,625       | 135,874,072       | 127,802,823       | 143,200,936       |
| 人件費(d)                          | 69,602,761        | 70,356,756        | 69,713,694        | 69,226,274        |
| 管理費(e)                          | 9,193,689         | 7,604,087         | 7,729,111         | 9,175,655         |
| 医業費(f)                          | 43,985,233        | 44,309,664        | 42,438,116        | 50,851,314        |
| 公債費                             | 6,137,942         | 13,603,565        | 7,921,902         | 13,947,693        |
| 人件費率<br>(d/(a+b+c))*100         | 82.10%            | 76.37%            | 78.58%            | 75.44%            |
| 医業収支比率<br>((a+b+c)/(d+e+f))*100 | 69.05%            | 75.35%            | 74.01%            | 71.00%            |
| 人員体制(合計)                        | 9名                | 10名               | 10名               | 10名               |

【用語説明】

繰入金：赤字補填に伴う一般会計からの繰入  
 諸収入：学校等の検診、予防接種、特定健診 等  
 使用料・手数料：往診車・敷地使用料、診断書 等  
 市債：医療機器等の備品更新費に充てる事業債  
 人件費・管理費：職員賃金、施設管理費、研究研修費 等  
 医業費：医療用器具保守管理費、医療量消耗品、医薬品購入費 等  
 公債費：診療所建設、医療用機械器具購入等に係る起債の償還金  
 人件費率：繰入金や市債を除く診療収入等に対して人件費が占める割合  

$$\text{人件費} / \text{繰入金及び市債を除く収入} \times 100$$
  
 医業収支比率：人件費、経費などの運営費用が診療収入等に対して賄われる割合  

$$\text{繰入金及び市債を除く収入} / \text{公債費等を除く運営費} \times 100$$

【表1-2：平成26～29年度 患者数、収支等の推移】

|                                 | H26               | H27               | H28               | H29               |
|---------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 外来患者人数(人)                       | 8,732             | 7,304             | 7,132             | 6,872             |
| (内往診患者数)                        | (261)             | (220)             | (192)             | (134)             |
| 1日平均患者数(人)                      | 36.2              | 30.9              | 29.8              | 28.4              |
| 診療実日数(日)                        | 241               | 236               | 239               | 242               |
| 収入(円)                           | 138,348,109       | 128,000,394       | 121,882,896       | 123,394,141       |
| 診療収入(a)                         | 77,942,631        | 69,548,358        | 65,322,036        | 65,795,508        |
| <b>繰入金</b>                      | <b>47,660,593</b> | <b>47,709,914</b> | <b>46,360,692</b> | <b>48,751,102</b> |
| 諸収入(b)                          | 11,975,040        | 10,083,602        | 9,441,768         | 8,098,451         |
| 使用料・手数料(c)                      | 769,845           | 658,520           | 758,400           | 749,080           |
| 繰越金・財産収入                        | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 |
| 市債                              | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 |
| 支出(円)                           | 138,348,109       | 128,000,394       | 121,882,896       | 123,394,141       |
| 人件費(d)                          | 61,954,223        | 63,058,893        | 56,593,881        | 58,096,609        |
| 管理費(e)                          | 8,606,521         | 7,325,169         | 6,684,878         | 7,304,056         |
| 医業費(f)                          | 48,999,091        | 39,773,970        | 40,304,351        | 39,967,337        |
| 公債費                             | 18,788,274        | 17,842,362        | 18,299,786        | 18,026,139        |
| 人件費率<br>(d/(a+b+c))*100         | 68.32%            | 78.54%            | 74.94%            | 77.83%            |
| 医業収支比率<br>((a+b+c)/(d+e+f))*100 | 75.85%            | 72.89%            | 72.91%            | 70.84%            |
| 人員体制(合計)                        | 9名                | 9名                | 9名                | 9名                |

【表1-3：平成30～令和3年度 患者数、収支等の推移】

|                                 | H30               | R1                | R2                | R3(予算)          |
|---------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------|
| 外来患者人数(人)                       | 7,737             | 7,747             | 5,194             | —               |
| (内往診患者数)                        | (159)             | (145)             | (271)             | —               |
| 1日平均患者数(人)                      | 27.6              | 26.3              | 22.4              | —               |
| 診療実日数(日)                        | 280               | 295               | 232               | —               |
| 収入(円)                           | 136,407,842       | 142,928,294       | 100,628,567       | 125,608千円       |
| 診療収入(a)                         | 71,567,269        | 74,260,606        | 48,584,545        | 20,054千円        |
| <b>繰入金</b>                      | <b>53,510,629</b> | <b>55,135,991</b> | <b>47,122,023</b> | <b>72,692千円</b> |
| 諸収入(b)                          | 8,209,744         | 8,612,837         | 4,370,009         | 32,286千円        |
| 使用料・手数料(c)                      | 720,200           | 718,860           | 551,990           | 575千円           |
| 繰越金・財産収入                        | 0                 | 0                 | 0                 | 1千円             |
| 市債                              | 2,400,000         | 4,200,000         | 0                 | 0               |
| 支出(円)                           | 136,407,842       | 142,928,294       | 100,628,567       | 125,608千円       |
| 人件費(d)                          | 68,682,140        | 67,752,738        | 51,176,773        | 30,096千円        |
| 管理費(e)                          | 9,813,100         | 8,274,007         | 8,300,762         | 10,950千円        |
| 医業費(f)                          | 40,154,222        | 49,989,073        | 24,770,936        | 9,870千円         |
| 公債費                             | 17,758,380        | 16,912,476        | 16,380,096        | 72,691千円        |
| 予備費等                            | —                 | —                 | —                 | 2,001千円         |
| 人件費率<br>(d/(a+b+c))*100         | 85.32%            | 81.05%            | 95.65%            | 56.88%          |
| 医業収支比率<br>((a+b+c)/(d+e+f))*100 | 67.84%            | 66.33%            | 63.51%            | 103.93%         |
| 人員体制(合計)                        | 8.5名              | 8.5名              | 4.5名(R3.1～)       | 4.5名            |

### 3 診療所の利用状況

診療所利用者の居住地は、訪問診療数を含め赤城地区が最も多い状況です。

【表2：地区別外来患者数及び訪問診療利用者数】

| 地区   | 診療数   |        |       |        |       |        | うち訪問診療数 |        |       |        |       |        |       |
|------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|---------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
|      | R1    | 割合     | R2    | 割合     | R3    | 割合     | R1      | 割合     | R2    | 割合     | R3    | 割合     |       |
| 赤城地区 | 津久田   | 1,676  | 21.6% | 1,140  | 21.9% |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 敷島    | 549    | 7.1%  | 329    | 6.3%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 長井小川田 | 424    | 5.5%  | 330    | 6.4%  | 251    | 47.3%   | 54     | 36.5% | 158    | 58.3% | 115    | 65.7% |
|      | 深山    | 192    | 2.5%  | 150    | 2.9%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 棚下    | 56     | 0.7%  | 39     | 0.8%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 持柏木   | 121    | 1.6%  | 66     | 1.3%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 溝呂木   | 405    | 5.2%  | 281    | 5.4%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 北上野   | 281    | 3.6%  | 137    | 2.6%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 勝保沢   | 536    | 6.9%  | 318    | 6.1%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 見立    | 223    | 2.9%  | 142    | 2.7%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 滝沢    | 153    | 2.0%  | 101    | 1.9%  | 175    | 33.0%   | 67     | 45.3% | 97     | 35.8% | 52     | 29.7% |
|      | 上三原田  | 356    | 4.6%  | 230    | 4.4%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 三原田   | 293    | 3.8%  | 188    | 3.6%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 樽     | 74     | 1.0%  | 32     | 0.6%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 宮田    | 391    | 5.0%  | 277    | 5.3%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
| 栄    | 110   | 1.4%   | 71    | 1.4%   |       |        |         |        |       |        |       |        |       |
| 小計   | 5,840 | 75.4%  | 3,831 | 73.8%  | 426   | 80.2%  | 121     | 81.8%  | 255   | 94.1%  | 167   | 95.4%  |       |
| 子持地区 | 上白井   | 367    | 4.7%  | 270    | 5.2%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 中郷    | 718    | 9.3%  | 394    | 7.6%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 吹屋    | 124    | 1.6%  | 63     | 1.2%  | 67     | 12.6%   | 25     | 16.9% | 16     | 5.9%  | 8      | 4.6%  |
|      | 白井    | 44     | 0.6%  | 33     | 0.6%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 北牧/横堀 | 57     | 0.7%  | 41     | 0.8%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
| 小計   | 1,310 | 16.9%  | 801   | 15.4%  | 67    | 12.6%  | 25      | 16.9%  | 16    | 5.9%   | 8     | 4.6%   |       |
| 渋川地区 | 渋川地区  | 183    | 2.4%  | 115    | 2.2%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 金島地区  | 41     | 0.5%  | 59     | 1.1%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
|      | 古巻地区  | 27     | 0.3%  | 29     | 0.6%  | 16     | 3.0%    | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0%  |
|      | 豊秋地区  | 60     | 0.8%  | 46     | 0.9%  |        |         |        |       |        |       |        |       |
| 小計   | 311   | 4.0%   | 249   | 4.8%   | 16    | 3.0%   | 0       | 0.0%   | 0     | 0.0%   | 0     | 0.0%   |       |
| 他市内  | 111   | 1.4%   | 94    | 1.8%   | 7     | 1.3%   | 2       | 1.4%   | 0     | 0.0%   | 0     | 0.0%   |       |
| 小計   | 111   | 1.4%   | 94    | 1.8%   | 7     | 1.3%   | 2       | 1.4%   | 0     | 0.0%   | 0     | 0.0%   |       |
| 市外   | 175   | 2.3%   | 219   | 4.2%   | 15    | 2.8%   | 0       | 0.0%   | 0     | 0.0%   | 0     | 0.0%   |       |
| 合計   | 7,747 | 100.0% | 5,194 | 100.0% | 531   | 100.0% | 148     | 100.0% | 271   | 100.0% | 175   | 100.0% |       |

(国保あかぎ診療所医療システム)

※R3は10月までの一般患者、訪問診療患者、休日当番日の患者、とインフルエンザ予防接種患者とし、コロナワクチン接種、職員破傷風予防接種は集計から除外。

## 第3章 渋川市の医療の状況について

### 1 渋川市の医療施設

本市の一般診療所は43件で、人口10万人あたりの施設数は54.85件となり、群馬県の66.8件に対して下回っています。また、診療科目別の人口10万人あたりの施設数は、産婦人科系診療所を除き、群馬県と概ね同程度となります。

赤城地区においては、南地区に民間診療所が1施設あり、国保あかぎ診療所からは約5km車で10分の位置にあります。また、渋川市地区において至近な民間診療所は、国保あかぎ診療所からは約5km車で10分程度の位置にあります。

また、二次医療機関である渋川医療センターは、国保あかぎ診療所から約4km車で約8分の位置にあります。

【表3-1 施設種類別の医療施設数】（令和2年11月時点）

|           |           | 渋川市 | 人口10万人あたり施設数 |       |
|-----------|-----------|-----|--------------|-------|
|           |           |     | 渋川市          | 群馬県   |
| 一般診療所 合計  |           | 43  | 54.85        | 66.80 |
| 診療内訳      | 内科系診療所    | 34  | 43.37        | 46.53 |
|           | 外科系診療所    | 12  | 14.31        | 18.09 |
|           | 小児科系診療所   | 17  | 21.69        | 20.12 |
|           | 産婦人科系診療所  | 1   | 1.28         | 3.75  |
|           | 皮膚科系診療所   | 10  | 12.76        | 9.33  |
|           | 眼科系診療所    | 3   | 3.83         | 5.17  |
|           | 耳鼻咽喉科系診療所 | 3   | 3.83         | 3.34  |
|           | 精神科系診療所   | 4   | 5.10         | 4.66  |
| 病院        |           | 9   | 11.48        | 6.49  |
| 歯科        |           | 31  | 39.55        | 49.16 |
| 薬局        |           | 26  | 33.17        | 46.47 |
| 在宅療養支援診療所 |           | 15  | 19.13        | 12.67 |

（日本医師会提供：地域医療情報システムより）

※一つの診療所で複数の診療科目をもつ施設があることから、診療内訳の計は診療所の合計とは一致しない。

【表3-2 市内地域別の医療施設数】

|           | 渋川 | 伊香保 | 小野上 | 子持 | 赤城 | 北橋 |
|-----------|----|-----|-----|----|----|----|
| 一般診療所     | 39 | 1   | 0   | 0  | 2  | 1  |
| 病院        | 4  | 0   | 0   | 1  | 1  | 3  |
| 歯科        | 23 | 1   | 1   | 3  | 2  | 1  |
| 薬局        | 21 | 1   | 0   | 3  | 0  | 1  |
| 在宅療養支援診療所 | 14 | 0   | 0   | 0  | 0  | 1  |

【図1 渋川市内の診療所設置状況】



(日本医師会提供：地域医療情報システムより)

※ 青いピンは診療所（内科・外科・整形外科等）を示す。

## 2 市内各地区からの医療機関への通院距離

### (1) 赤城地区

赤城行政センターを起点とした場合、約5km車で約10分の位置に赤城南地区の民間診療所があります。また、渋川医療センターへは、約5km車で約10分の距離です。

棚下地区を起点とした場合、約12km車で約20分の位置に赤城南地区の民間診療所があり、渋川医療センターへは、約10km車で約15分の距離となります。沼田方面では約6km車で約10分の位置に昭和村内の診療所、約10km車で約20分の位置に沼田市内の診療所があり、利根中央病院へは、約8km車で約15分の距離となります。なお、国保あかぎ診療所へは、約7km車で約15分の距離です。

深山地区を起点とした場合、約12km車で約20分の位置に赤城南地区の民間診療所があります。また、渋川医療センターへは、約13km車で約20分の距離となります。沼田方面では約11km車で20分の位置に昭和村内の診療所、約13km車で約20分の位置に利根中央病院があります。なお、国保あかぎ診療所へは、約8km車で約15分の距離です。

### (2) 子持地区

子持行政センターを起点とした場合、約3km車で約5分の位置に渋川地区の民間診療所があり、渋川医療センターへは、約3km車で約5分の距離となります。なお、国保あかぎ診療所へは、約4km車で約5分の距離です。

上白井地区（上組地区集会所）を起点とした場合、約 10km 車で約 15 分の位置に渋川地区の民間診療所があり、渋川医療センターへは、約 8 km 車で約 15 分の距離となります。沼田方面では約 7 km 車で約 10 分の位置に昭和村内の診療所、約 9km 車で約 15 分の位置に利根中央病院があります。なお、国保あかぎ診療所へは、約 5 km 車で約 10 分の距離です。

### （3） 小野上地区

小野上行政センターを起点とした場合、約 3 km 車で約 5 分の位置に東吾妻町国民健康保険診療所があり、中之条町方面では約 10km 車で 15 分の位置に吾妻さくら病院があり、その周辺には複数の診療所があります。なお、国保あかぎ診療所へは、約 12km 車で約 20 分の距離です。

#### 【へき地医療について】（県HPより）

群馬県保健医療計画において「へき地」とは、住民が居住している一定の範囲に医療機関が存在しない、あるいは一人しか医師がいないことにより、容易に医療機関を利用することができない地区をいいます。

状況に応じて以下の区分に分類されます。（いずれも令和元年 10 月現在）

#### <無医地区>

原則として医療機関のない地域で、当該地区の中心的な場所を起点としておおむね半径 4 km の区域内に 50 人以上が居住している地区であって、かつ容易に医療機関を利用することができない（定期交通機関がない、または 1 日 3 往復以下であるか、または 4 往復以上であるが、これを利用して医療機関まで行くために必要な時間が 1 時間をこえる）地区。

渋川市 開拓・八木沢清水／孺恋村 万座、浅間開拓、中原・山梨・大平／沼田市 穴原／みなかみ町 赤谷、入須川

#### <準無医地区>

無医地区には該当しないが、医療機関の診療日数が少ないことや、交通事情により巡回診療等が必要とされる地区。

高崎市 川浦地区・権田地区／神流町 西部／南牧村 村内全域／東吾妻町 高日向／沼田市 穴原／みなかみ町 藤原

#### <へき地診療所が設置されている地区>

区域内の人口が原則として 1,000 人以上で、おおむね半径 4 km の区域内にへき地診療所以外の医療機関がなく、診療所が設置されている場所から最寄りの医療機関まで通常の交通機関を利用して 30 分以上かかる地区。

（へき地医療拠点病院）西吾妻福祉病院、国立病院機構沼田病院、沼田脳神経外科循環器科病院

（へき地診療所）安中市 公立碓氷病院細野出張診療所、公立碓氷病院入山出張診療所／上野村 上野村へき地診療所／神流町 万場診療所、神流町国民健康保険直営中里診療所／中之条 中之条町立四万へき地診療所、六合診療所／長野原町 長野原町へき地診療所／東吾妻町 東吾妻町国民健康保険診療所

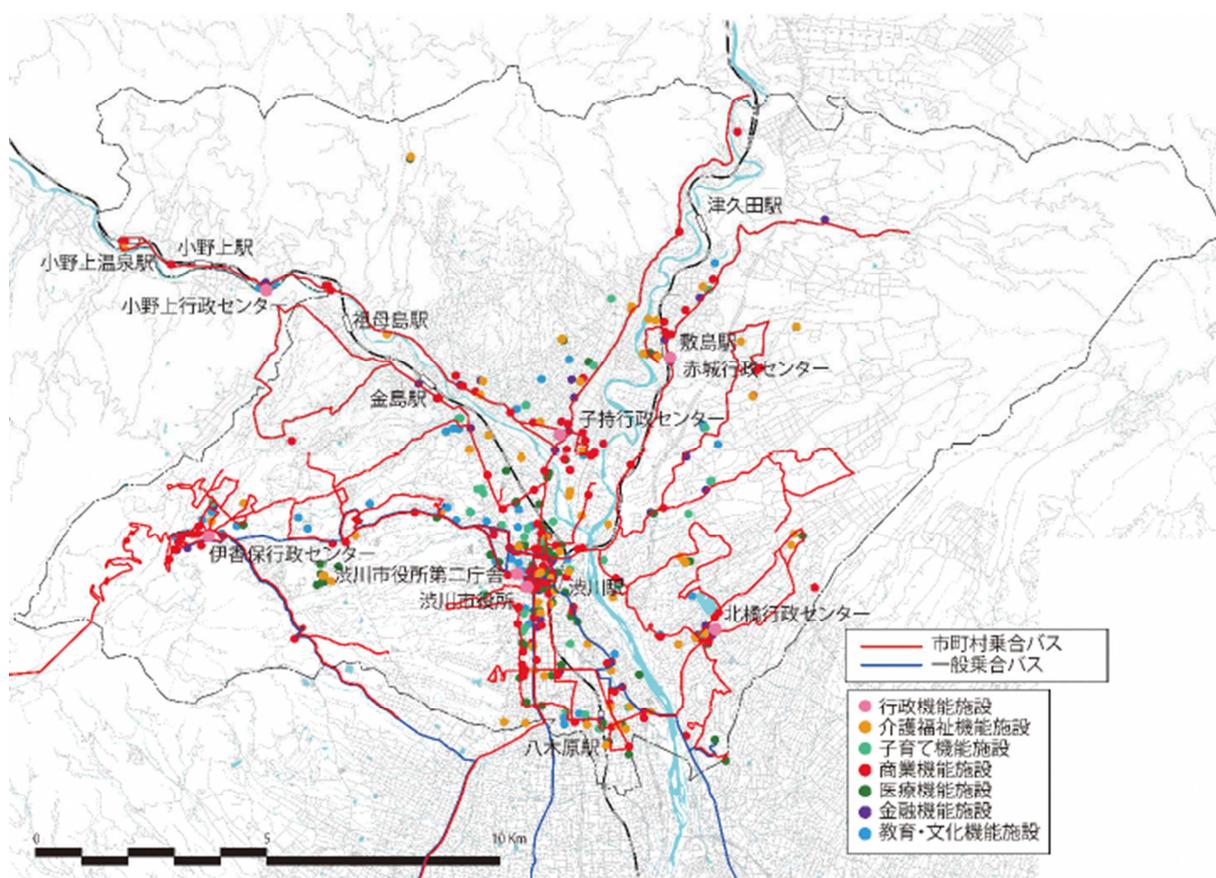
### 3 公共交通の状況（「渋川市地域公共交通計画」より）

#### （1） バス路線の現状

市内には市町村乗合バス（市がバス事業者に委託をして運行するバス）が19路線、一般乗合バス（バス事業者が自主運行するバス）が5路線の計24路線あり、主としてJR渋川駅を中心に放射状に運行されています。

市民の多くはバス路線にアクセスしやすいエリアに集中的に居住している一方で、小野上地区や子持地区、赤城地区等に多く点在する高齢化率の高いエリアにはバス路線がなく、公共交通へのアクセス性が悪い状況です。人口の少ない山間部では高齢化率が高い傾向にあることから、バス路線に依存しない移動手段の整備が求められます。

【図2 バス路線の状況（令和3年1月現在）】



（国土数値情報（都市機能施設）、市内バス路線図（バス路線））

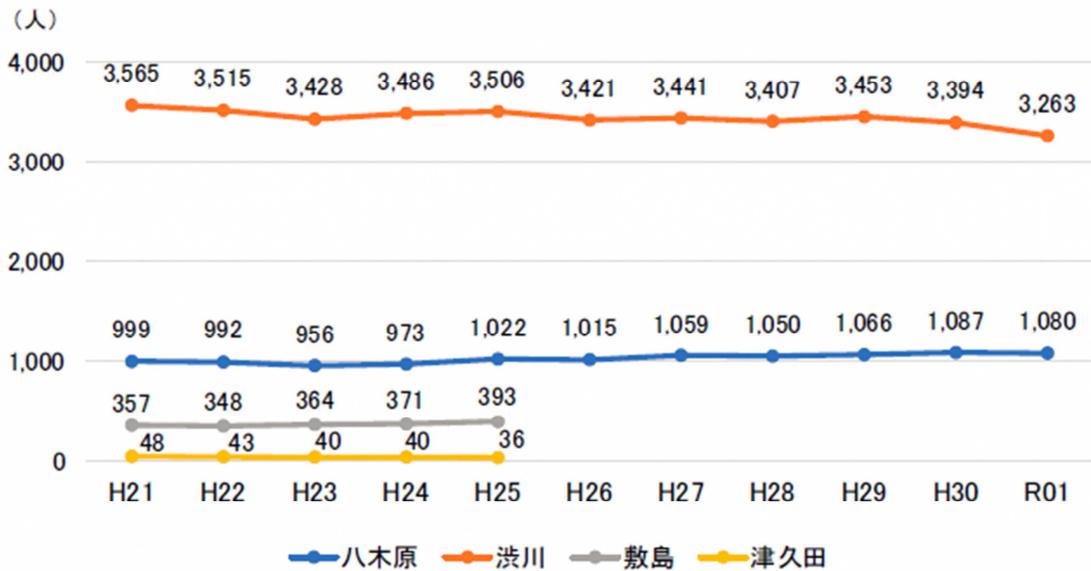
#### （2） 鉄道の状況

市内にはJR上越線の駅が、八木原駅、渋川駅、敷島駅、津久田駅の4駅あり、そのうち、敷島駅と津久田駅は無人駅となっています。

渋川駅の1日あたりの乗車人員は、近年では3,200～3,400人前後で推移し、平成21年度と令和元年度の乗車人員を比較すると、約8.5%減少しています。

乗車人員公表時（～平成25年度）の敷島駅及び津久田駅の1日あたりの乗車人員は、それぞれ350人前後、40人前後となっています。

【図3 JR上越線各駅の1日あたり乗車人員の推移】



(JR 東日本・資料提供)

※平成26年度から無人駅の乗車人員が非公表

### (3) タクシーの状況

市内にはタクシー事業者が3社存在しており、各事業者のタクシー保有台数は渋川市全体で71台、その内61台がJR渋川駅前、10台が伊香保に配置されています。渋川市内タクシーの運賃制度は群馬県B地区に該当し、初乗運賃（普通車）は1,368mまで600円、加算運賃は以降216mごとに90円です。

タクシー業界では運転手の高齢化と人手不足が問題となっており、今後の運転手確保が喫緊の課題とされています。また、高齢者移動支援事業（タクシー利用券）によりタクシー利用客は新規利用者が増加傾向にあったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、利用者数は減少に転じています。

### (4) 赤城地区温泉シャトルバス

赤城地区では、旧赤城村時代に村民の健康保持や福祉の増進を図るため、平成5年に「赤城の湯ふれあいの家」を、平成9年には「ユートピア赤城」をオープンしました。「赤城の湯ふれあいの家」のオープンにあたり、施設までの高齢者の移動手段を確保するため、幼稚園バスの空き時間を利用し、70歳以上の高齢者を対象に、村直営で無料のシャトルバスの運行を開始しました。

その後、平成18年2月の市町村合併前に、旧赤城村で温泉シャトルバスは一度廃止されましたが、住民等からの要望を受け、平成19年2月から市が直営で無料のシャトルバスの運行を再開しました。平成22年4月からは国保あかぎ診療所もルートに加え、主に65歳以上の高齢者の足として現在に至ります。

【表4：赤城地区温泉シャトルバスの運行経路】

| 路線No. | ①        | ②     | ③ (長井小川田地内) | ④        |
|-------|----------|-------|-------------|----------|
| 停留場所  | 小池原三本辻   | 鉄橋下   | ※個人宅前       | 深山バス回転場所 |
|       | 津久田第三集会所 | 津久田駅西 | ※個人宅前       | 深山大橋     |
|       | 津久田第二集会所 | 沼尾橋   | ※個人宅前       | 芳ヶ沢公会堂   |
|       | 上宿バス停    | 温泉    | 温泉          | 芳ヶ沢西     |
|       | 北中学校前    | ベイシア  | ベイシア        | 温泉       |
|       | ※個人宅前    |       |             | ベイシア     |
|       | 温泉       |       |             |          |
|       | ベイシア     |       |             |          |

| 路線No. | ⑤          | ⑥        | ⑦        | ⑧           |
|-------|------------|----------|----------|-------------|
| 停留場所  | 持柏木農事倉庫西   | (有)東山電気前 | 南中学校前    | 溝呂木構造改善センター |
|       | 三原田小学校前    | 快中山前     | JA赤城橋本所前 | 赤城銘木前       |
|       | 上三原田歌舞伎舞台上 | 中峯バス停    | 上三原田バス亭  | 栄集会所        |
|       | 三原田スーパー前   | 水上バス停    | 茂木建窓西    | ※個人宅前       |
|       | 温泉         | 温泉       | 温泉       | 沖門バス停       |
|       | ベイシア       | ベイシア     | ベイシア     | 温泉          |
|       |            |          |          | ベイシア        |

(5) 福祉のあし

渋川市社会福祉協議会が運営する施設のバスを活用し、巡回バスを運行するもので、移動が困難な高齢者、障害者、子育て世代の方々の外出支援（買物・通院・居場所づくり等）及びボランティアの育成を目的とし、事業の運営費は、社協の施設運営で得た利益を財源としています。

【図4 福祉のあしバス停マップ】



(渋川市社会福祉協議会ホームページ)

(6) ささえあい買い物事業「あいのり」

買物に困っている地域の高齢者がタクシーに相乗りして買物に行く事業で、利用を希望する方は、社協に事前申し込みを行い、社協で相乗りするメンバーを調整します。利用者は、店舗からの距離に応じた利用料金を支払いますが、タクシー料金の一部を店舗と社協で負担するため、通常のタクシー料金より大幅に安い料金で買物に行くことができます。平成30年度から豊秋地区、古巻地区を皮切りに、実施可能地区を段階的に拡大し、令和元年7月に市内全地区に広がりました。事業の運営費は、社協の介護保険事業で得た利益を財源としています。

#### 4 渋川市の医療介護需要予測

本市の将来的な医療や介護の需要は、平成27年度を100とした場合、医療については令和12年まではほぼ横ばいですが、それ以降は減少する見込みです。一方の介護については、令和12年まで上昇しますが、それ以降は減少する見込みです。

【表5 医療介護需要予測】(令和2年11月時点)

|      |     | H27 | R2  | R7  | R12 | R17 | R22 | R27 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 医療需要 | 渋川市 | 100 | 100 | 100 | 97  | 91  | 85  | 79  |
|      | 群馬県 | 100 | 104 | 106 | 105 | 103 | 101 | 99  |
|      | 全国  | 100 | 104 | 106 | 106 | 104 | 104 | 102 |
| 介護需要 | 渋川市 | 100 | 107 | 118 | 124 | 119 | 113 | 105 |
|      | 群馬県 | 100 | 112 | 128 | 134 | 133 | 131 | 131 |
|      | 全国  | 100 | 113 | 128 | 133 | 132 | 131 | 133 |

(日本医師会提供：地域医療情報システムより)

※将来推計人口：国立社会保障・人口問題研究所(平成30年3月推計)

※医療介護需要予測：各年の需要量を以下で計算し、平成27年の国勢調査に基づく需要量＝100として指数化

・各年の医療需要量＝

$0\sim 14\text{歳} \times 0.6 + 15\sim 39\text{歳} \times 0.4 + 40\sim 64\text{歳} \times 1.0 + 65\sim 74\text{歳} \times 2.3 + 75\text{歳} \sim \times 3.9$

・各年の介護需要量＝

$40\sim 64\text{歳} \times 1.0 + 65\sim 74\text{歳} \times 9.7 + 75\text{歳} \sim \times 87.3$

#### 5 渋川市の人口(令和2年度国勢調査)

(1) 全体の概況

|              | 今回調査<br>(令和2年) | 前回調査<br>(平成27年) | 増減数                  | 増減率              |
|--------------|----------------|-----------------|----------------------|------------------|
| 人口<br>(前回数値) | 74,581人        | 78,391人         | -3,810人<br>(-4,939人) | -4.9%<br>(-5.9%) |
| うち男          | 36,363人        | 38,135人         | -1,772人              |                  |
| うち女          | 38,218人        | 40,256人         | -2,038人              |                  |
| 世帯数          | 29,114世帯       | 28,812世帯        | 302世帯                | 1.0%             |

## (2) 地区の概況

|       | 人口総数（人） |        |        |        | 世帯総数（世帯） |        |      |       |
|-------|---------|--------|--------|--------|----------|--------|------|-------|
|       | R2      | H27    | 増減数    | 増減率    | R2       | H27    | 増減数  | 増減率   |
| 渋川市   | 74,581  | 78,391 | -3,810 | -4.9%  | 29,114   | 28,812 | 302  | 1.0%  |
| 渋川地区  | 41,674  | 42,984 | -1,310 | -3.0%  | 16,861   | 16,490 | 371  | 2.2%  |
| 北橋地区  | 8,808   | 9,404  | -596   | -6.3%  | 3,021    | 2,998  | 23   | 0.8%  |
| 赤城地区  | 9,277   | 10,240 | -963   | -9.4%  | 3,336    | 3,462  | -126 | -3.6% |
| 子持地区  | 10,856  | 11,350 | -494   | -4.4%  | 3,992    | 3,896  | 96   | 2.5%  |
| 小野上地区 | 1,425   | 1,548  | -123   | -7.9%  | 543      | 566    | -23  | -4.1% |
| 伊香保地区 | 2,541   | 2,865  | -324   | -11.3% | 1,361    | 1,400  | -39  | -2.8% |

## (3) 年齢3区分の人口の推移

|                    | H22     |       | H27                 |       | R2                  |       |
|--------------------|---------|-------|---------------------|-------|---------------------|-------|
| 年少人口<br>(0～14歳)    | 10,175人 | 12.2% | 8,655人<br>(-1,520)  | 11.1% | 7,561人<br>(-1,094)  | 10.2% |
| 生産年齢人口<br>(15～64歳) | 50,843人 | 61.2% | 45,161人<br>(-5,682) | 57.8% | 40,199人<br>(-4,962) | 54.3% |
| 老年人口<br>(65歳～)     | 22,087人 | 26.6% | 24,303人<br>(+2,216) | 31.1% | 26,284人<br>(+1,981) | 35.5% |

## 第4章 国民健康保険あかぎ診療所のあり方について

### 1 地域医療確保に向けた検討

国保あかぎ診療所は、赤字補填である市の一般会計からの繰入金が増加しないことから、その経営改革が大きく迫られています。

令和3年12月17日をもって現在の医師が退職するに伴い休止となりますが、国保あかぎ診療所については、地域医療の確保を一つの基本的な考え方とし、そのうえで「新公立病院改革ガイドライン」（総務省・H27.3）や、「地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会報告書」（総務省・H29.12）、その他先行自治体を例に、医療機関の経営形態を市が新たに医師を確保し運営する【国保直診】、民間の医療法人等を指定管理者として包括的に委ねる公設民営制度である【指定管理】、経営面や施設面など病院事業そのものを医療法人等に譲渡し民間の医療機関として医療サービスの提供を行う【民間譲渡】について、以下のとおりまとめました。

#### (1) 国保直診

現在の国保直診として、医師を新たに雇用または医師派遣を依頼し運営を継続するものです。公立であり、地域医療の確保はできますが、現場を預かる所長には、組織・人事・給与等に関する権限は付与されておらず、効率的かつ自律的な病院運営を行っていく上で、制度的に以下のような課題を抱えています。

- ・職員定数の上限や職員採用手続きに期間を要することなどから、地域の医療ニーズや診療報酬改定をはじめとする医療環境の変化に対応した職員の増員や迅速・適正な配置が困難な「人事制度」
- ・年功序列型の給与体系であることから経営状況が反映されず、また、職員個々

の業績等が給与等処遇に結びつき職員の職務遂行意欲が高まるような独自の給与体系の設定が困難な「給与制度」

- ・予算編成が長期間にわたるため医療環境の変化等に即応できないほか、その編成過程において市長部局から財政面の制約を受け病院独自の予算編成が困難な「予算制度」
- ・独自の価格交渉や複数年契約など経済性を発揮するための多様な契約手法の採用が困難な「契約制度」
- ・市の人事ローテーションの影響により、医療や病院経営などに精通した事務職員の育成が困難な「事務職員の人材育成」

## (2) 指定管理

市が施設を整備・保有し財産を維持しながら、病院の運営管理全般については、議会の議決を経て民間の医療法人等を指定管理者として包括的に委ねる公設民営制度です。

これまでに導入された理由は自治体により様々ですが、民間的経営手法による経営改善を目的とする場合のほか、従前から病院の管理を地元医師会等に委託する公設民営方式で運営を行っていたところ、法改正に伴い引き続き地元医師会等を指定管理者として病院の運営管理全般を委ねた場合が多く見受けられます。(孺恋村国民健康保険診療所は公益社団法人 地域医療振興協会が運営)

指定管理者に対し協定により政策医療の確保が図ることができ、民間事業者の経営ノウハウを活用した効率的な運営が行われることが期待されますが、指定管理料として財政措置が必要となります。

本制度の導入が所期の効果を上げるためには、①適切な指定管理者の選定に特に配慮すること、②提供されるべき医療の内容、委託料の水準等、指定管理者に係わる諸条件について事前に十分に協議し相互に確認しておくこと、③病院施設の適正な管理が確保されるよう、地方公共団体においても事業報告書の徴取、実地の調査等を通じて、管理の実態を把握し、必要な指示を行うこと等が求められます。

一方、指定管理者の引受先がない場合や自らの経営難などの理由により事業の継続が困難となった場合、後継となる医療法人等が見つからないときは地域医療を失う結果となります。

## (3) 民間譲渡

経営面や施設面など病院事業そのものを医療法人等に譲渡し、民間の医療機関として医療サービスの提供を行います。

これまで行われた譲渡の理由として、経営状況の著しい悪化が大きな要因として挙げられるほか、民間病院が数多く存在し、医療提供体制が充実している一部地域においては、公立病院の果たすべき役割に照らした上で、その存在意義が乏しくなっているとの判断から譲渡が行われています。

病院運営の全ての権限は医療法人等の長が持つことから、民間の経営手法による効率的な運営が期待できます。一方で、公立病院が担っている医療は採算確保に困難性を伴うものを含むのが一般的であり、こうした医療の提供が引き続き必要な場

合には、民間譲渡に当たり相当期間の医療提供の継続を求めるなど、地域医療の確保の面から譲渡条件等について譲渡先との十分な協議が必要です。

## 2 今後の方針

今後の方針を定めるにあたり、要素となる点を以下のとおり示します。

### (1) 国保直診

現在の枠組みで運営することから、医師、看護師確保が可能であれば、準備期間及び多くの労力を要さず地域医療の確保は可能です。

一方で、令和3年度の国保あかぎ診療所の運営は、ワクチン接種に重点を置いたことから、これまで受診していた利用者は、他の診療所を選択することが予想され、従前の利用者が再び国保あかぎ診療所を選択するためには、周知活動やサービスの向上など、これまで以上の活動を要します。また、業務維持に向けた職員の確保を行うと共に、診療報酬や病院経営等に精通した職員を確保するなど、これまで以上の事務方の関与を要します。

### (2) 指定管理制度

これまでの実績から、指定管理制度導入に向けては会計年度を考慮し、6月市議会にて指定管理制度導入に向けた条例改正を行う必要があります。その際、仕様書を含めた募集要領を合わせて示します。

その前後に選考委員会の設置、募集・選定手続きを経て、12月市議会にて指定管理者の指定に関する議案の上程となり、議決されれば4月からの指定管理業務の開始となります。

必要となるのは、選考委員報酬と、条例改正の際の仕様書を含めた募集要項です。なお、指定管理制度運用に向けた流れは以下のとおりです。

#### ア 事前の検討（6月議会まで）

- ・ 指定管理制度導入の検討、指定管理者制度活用の実施方針策定
  - ・ 仕様書を含めた募集要項案の作成
  - ・ 個別条例等の改正
- ⇒ 条例改正議決に向けては、仕様書を含めた募集要項を示す必要があります

#### イ 募集準備（7月）

- ・ 公募、非公募の公表（ホームページ）
- ・ 選考委員会の設置

#### ウ 募集手続（8月～9月）

- ・ 仕様書を含めた募集要項の決定
- ・ 指定管理者の募集

#### エ 選考手続（10月）

- ・ 指定管理者候補の選考、市長へ通知

#### オ 選定手続（11月）

- ・ 指定管理者候補の選定
- ・ 選定結果の通知及び公表

#### カ 指定議案議決（12月）

- ・仮協定の締結
  - ・指定管理者の指定に関する議案の上程、議決
  - ・債務負担行為の設定
  - キ 指定手続、協定の締結等（1月）
    - ・指定通知書の交付
    - ・指定管理者の指定に関する告示及び公表
    - ・指定管理者との協議、基本協定の締結
  - ク 指定管理業務の開始（4月）
    - ・年度協定の締結
    - ・指定管理業務の開始
    - ・モニタリングの実施等
- ※診療所機能以外のスペースで、他のサービス展開を実施するためには追加の協議を要する

### （3） 民間譲渡

不動産の鑑定を実施し、譲渡価格等を設定します。譲渡先を定める選考委員会を設置し、募集・選定、議会での条例廃止等を経て譲渡先の運営開始となります。

必要となるのは、不動産鑑定料、選考委員報酬、譲渡後の運営指針です。

なお、民間譲渡実施に向けて基本的な流れは以下のとおりです。

#### ア 事前の検討

- ・譲渡に向けた検討、譲渡価格の決定
- ・選考委員会の設置
- ・譲渡の主旨（物件の概要、応募資格、選定方法、地域貢献に向けた提案等）

#### イ 募集準備

- ・公募、非公募の公表（ホームページ）

#### ウ 募集手続

- ・募集要項配布
- ・現地説明会、質問の受付
- ・募集受付

#### エ 選定及び譲渡先候補法人の決定

- ・選定（書類審査、プレゼンテーション、面接審査）
- ・譲渡先候補法人の決定及び報告
- ・仮協定の締結

#### オ 議案議決

- ・施設設置条例廃止及び譲渡先法人の決定の議案上程、議決

#### カ 譲渡準備

- ・契約保証金納入（契約金額の10%以上の額）
- ・職員の処遇対応

#### キ 施設の引き渡し

- ・施設引き渡し
- ・売買代金の支払い及び所有権移転登記

【参考 人口の推移】（国勢調査）

| 平成7年  | 総数          | 15歳未満      |      | 15～64歳     |      | 65歳以上      |      | 年齢不詳<br>(人) |
|-------|-------------|------------|------|------------|------|------------|------|-------------|
|       |             | (人)        | (%)  | (人)        | (%)  | (人)        | (%)  |             |
| 渋川市   | 91,162      | 14,967     | 16.4 | 60,517     | 66.4 | 15,678     | 17.2 | -           |
| 旧渋川市  | 49,167      | 8,228      | 16.7 | 33,116     | 67.4 | 7,823      | 15.9 | -           |
| 旧北橋村  | 10,028      | 1,749      | 17.4 | 6,528      | 65.1 | 1,751      | 17.5 | -           |
| 旧赤城村  | 13,021      | 2,084      | 16.0 | 8,289      | 63.7 | 2,648      | 20.3 | -           |
| 旧子持村  | 12,141      | 2,028      | 16.7 | 7,905      | 65.1 | 2,208      | 18.2 | -           |
| 旧小野上村 | 2,250       | 362        | 16.1 | 1,354      | 60.2 | 534        | 23.7 | -           |
| 旧伊香保町 | 4,555       | 516        | 11.3 | 3,325      | 73.0 | 714        | 15.7 | -           |
| 全国    | 125,570,246 | 20,013,730 | 15.9 | 87,164,721 | 69.4 | 18,260,822 | 14.5 | 130,973     |
| 群馬県   | 2,003,540   | 329,960    | 16.5 | 1,360,039  | 67.9 | 313,425    | 15.6 | 116         |
| 平成12年 | 総数          | 15歳未満      |      | 15～64歳     |      | 65歳以上      |      | 年齢不詳<br>(人) |
|       |             | (人)        | (%)  | (人)        | (%)  | (人)        | (%)  |             |
| 渋川市   | 89,795      | 13,251     | 14.8 | 58,417     | 65.1 | 18,082     | 20.1 | -           |
| 旧渋川市  | 48,761      | 7,437      | 15.3 | 32,103     | 65.8 | 9,176      | 18.8 | -           |
| 旧北橋村  | 10,301      | 1,554      | 15.1 | 6,688      | 64.9 | 2,059      | 20.0 | -           |
| 旧赤城村  | 12,555      | 1,719      | 13.7 | 7,885      | 62.8 | 2,951      | 23.5 | -           |
| 旧子持村  | 11,961      | 1,764      | 14.7 | 7,718      | 64.5 | 2,479      | 20.7 | -           |
| 旧小野上村 | 2,140       | 302        | 14.1 | 1,248      | 58.3 | 590        | 27.6 | -           |
| 旧伊香保町 | 4,077       | 475        | 11.7 | 2,775      | 68.1 | 827        | 20.3 | -           |
| 全国    | 126,925,843 | 18,472,499 | 14.6 | 86,219,631 | 67.9 | 22,005,152 | 17.3 | 228,561     |
| 群馬県   | 2,024,852   | 306,895    | 15.2 | 1,346,441  | 66.6 | 367,117    | 18.2 | 4,399       |
| 平成17年 | 総数          | 15歳未満      |      | 15～64歳     |      | 65歳以上      |      | 年齢不詳<br>(人) |
|       |             | (人)        | (%)  | (人)        | (%)  | (人)        | (%)  |             |
| 渋川市   | 87,469      | 11,707     | 13.4 | 55,490     | 63.4 | 20,271     | 23.2 | 1           |
| 旧渋川市  | 47,961      | 6,697      | 14.0 | 30,819     | 64.3 | 10,444     | 21.8 | 1           |
| 旧北橋村  | 10,049      | 1,311      | 13.0 | 6,461      | 64.3 | 2,277      | 22.7 | -           |
| 旧赤城村  | 11,981      | 1,419      | 11.8 | 7,344      | 61.3 | 3,218      | 26.9 | -           |
| 旧子持村  | 11,722      | 1,630      | 13.9 | 7,308      | 62.3 | 2,784      | 23.8 | -           |
| 旧小野上村 | 1,994       | 238        | 11.9 | 1,171      | 58.7 | 585        | 29.3 | -           |
| 旧伊香保町 | 3,762       | 412        | 11.0 | 2,387      | 63.5 | 963        | 25.6 | -           |
| 全国    | 127,767,994 | 17,521,234 | 13.7 | 84,092,414 | 65.8 | 25,672,005 | 20.1 | 482,341     |
| 群馬県   | 2,024,135   | 291,995    | 14.4 | 1,314,259  | 65.0 | 416,909    | 20.6 | 972         |

| 平成22年 | 総数          | 15歳未満      |      | 15～64歳     |      | 65歳以上      |      | 年齢不詳<br>(人) |
|-------|-------------|------------|------|------------|------|------------|------|-------------|
|       |             | (人)        | (%)  | (人)        | (%)  | (人)        | (%)  |             |
| 渋川市   | 83,330      | 10,175     | 12.2 | 50,843     | 61.2 | 22,087     | 26.6 | 225         |
| 旧渋川市  | 45,655      | 5,830      | 12.8 | 28,096     | 61.7 | 11,582     | 25.5 | 147         |
| 旧北橋村  | 9,857       | 1,234      | 12.5 | 6,091      | 61.8 | 2,528      | 25.7 | 4           |
| 旧赤城村  | 11,063      | 1,151      | 10.4 | 6,621      | 59.9 | 3,289      | 29.7 | 2           |
| 旧子持村  | 11,589      | 1,497      | 12.9 | 6,968      | 60.3 | 3,100      | 26.8 | 24          |
| 旧小野上村 | 1,804       | 166        | 9.2  | 1,088      | 60.3 | 550        | 30.5 | 0           |
| 旧伊香保町 | 3,362       | 297        | 9.0  | 1,979      | 59.7 | 1,038      | 31.3 | 48          |
| 全国    | 128,057,352 | 16,803,444 | 13.2 | 81,031,800 | 63.8 | 29,245,685 | 23.0 | 976,423     |
| 群馬県   | 2,008,068   | 275,225    | 13.8 | 1,251,608  | 62.7 | 470,520    | 23.6 | 10,715      |
| 平成27年 | 総数          | 15歳未満      |      | 15～64歳     |      | 65歳以上      |      | 年齢不詳<br>(人) |
|       |             | (人)        | (%)  | (人)        | (%)  | (人)        | (%)  |             |
| 渋川市   | 78,391      | 8,655      | 11.1 | 45,161     | 57.8 | 24,303     | 31.1 | 272         |
| 旧渋川市  | 42,984      | 4,937      | 11.5 | 25,232     | 58.9 | 12,649     | 29.5 | 166         |
| 旧北橋村  | 9,404       | 1,063      | 11.3 | 5,476      | 58.3 | 2,859      | 30.4 | 6           |
| 旧赤城村  | 10,240      | 925        | 9.0  | 5,730      | 56.0 | 3,578      | 35.0 | 7           |
| 旧子持村  | 11,350      | 1,400      | 12.3 | 6,351      | 56.0 | 3,593      | 31.7 | 6           |
| 旧小野上村 | 1,548       | 117        | 7.6  | 846        | 55.1 | 573        | 37.3 | 12          |
| 旧伊香保町 | 2,865       | 213        | 7.6  | 1,526      | 54.7 | 1,051      | 37.7 | 75          |
| 全国    | 127,094,745 | 15,886,810 | 12.6 | 76,288,736 | 60.7 | 33,465,441 | 26.6 | 1,453,758   |
| 群馬県   | 1,973,115   | 250,884    | 12.8 | 1,165,780  | 59.6 | 540,026    | 27.6 | 16,425      |
| 令和2年  | 総数          | 15歳未満      |      | 15～64歳     |      | 65歳以上      |      | 年齢不詳<br>(人) |
|       |             | (人)        | (%)  | (人)        | (%)  | (人)        | (%)  |             |
| 渋川市   | 74,581      | 7,561      | 10.2 | 40,199     | 54.3 | 26,284     | 35.5 | 537         |
| 旧渋川市  | 41,674      | 4,497      | 10.9 | 23,080     | 55.9 | 13,697     | 33.2 | 400         |
| 旧北橋村  | 8,808       | 868        | 9.9  | 4,676      | 53.1 | 3,260      | 37.0 | 4           |
| 旧赤城村  | 9,277       | 753        | 8.1  | 4,680      | 50.6 | 3,818      | 41.3 | 26          |
| 旧子持村  | 10,856      | 1,250      | 11.6 | 5,759      | 53.2 | 3,808      | 35.2 | 39          |
| 旧小野上村 | 1,425       | 70         | 4.9  | 682        | 47.9 | 673        | 47.2 | 0           |
| 旧伊香保町 | 2,541       | 123        | 5.0  | 1,322      | 53.5 | 1,028      | 41.6 | 68          |
| 全国    | 126,146,099 | 14,955,692 | 12.1 | 72,922,764 | 59.2 | 35,335,805 | 28.7 | 2,931,838   |
| 群馬県   | 1,939,110   | 224,304    | 11.8 | 1,096,231  | 57.8 | 576,729    | 30.4 | 41,846      |